

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 2 霜害発生！残った花を確実に成らせよう！

- ◆ 3月29日、30日、4月2日、3日の降霜で被害が発生しています！
- ◆ 「やまがた紅王」、「紅秀峰」などの生育が早い品種で特に被害が目立っています！
- ◆ 結実確保対策を徹底してください！

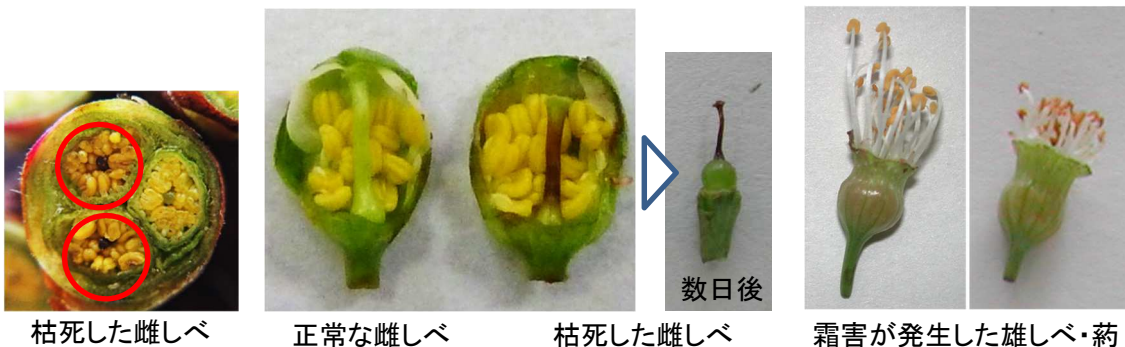
1 雌しべの枯死の発生状況

・低温遭遇時間が長い園地では・・・

「紅秀峰」 対策をした園地：2割程度、対策をしない園地：7割程度

「佐藤錦」 対策をした園地：1割程度、対策をしない園地：2～5割程度

自分の園地の被害状況を確認してください！



2 今年は結実対策が必須！正常花を確実に成らせよう！

防風対策と人工受粉を徹底してください！

(1) 防風対策

- ・風当たりの強いところでは、**防風ネット（目合い2mmまたは4mm目を二重にする）を風上側に設置** ※降霜時はネットのすそを上げておく

(2) 切り枝の利用

- ・開花直前の太めの枝を切除
- ・受粉樹が少ない場所、受粉樹から遠い場所に多く設置

(3) かん水

- ・開花期まではたっぷりかん水
(開花期期間中に乾燥した場合もかん水)
- ・かん水の目安は20t(20mm)/10a程度
(かん水施設がない場合は、樹冠下だけでもかん水)

バケツに水差しして設置



(4) 人工受粉

ア 時期 **5分咲きと満開期は必ず実施（さらに遅れ花にもう1回！）**
被害が大きい場合はなるべく回数を多く実施

イ 方法

◆花が乾いている時なら、いつでもOK！

◆毛ばたき受粉

- ・受粉樹の主枝1本をなで、花粉を付ける
- ・交配樹の主枝2～3本をなで、花粉を付ける
- ・毛バタキが硬い場合・汚れた場合は、ぬるま湯で洗って陰干しして使用



回転させながら花粉を付ける

◆花粉を採取しての受粉（毛バタキ受粉機の利用）

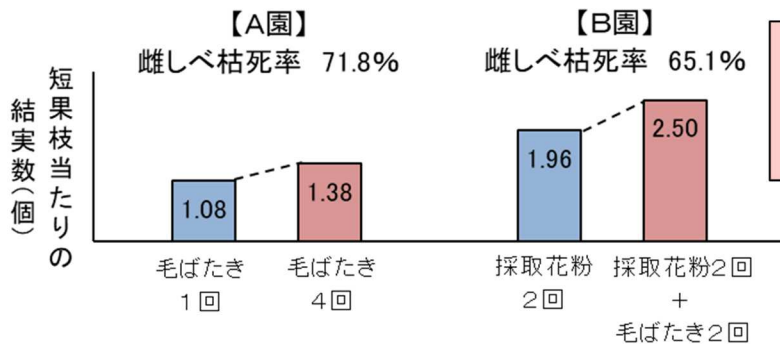
- ・受粉樹から風船状～開花直後の花を摘み、開葯・希釈して使用（開葯翌日から使用可）
- ・「ぼんてん」を用いる場合は、正常な花をねらって受粉する

- ◆採取花粉を石松子で希釈する目安
- ・葯殻つき花粉：3～5倍
- ・精製花粉：6～10倍

ウ 重点的に実施する樹

- ・**凍霜害が大きい樹を重点的に実施**
- ・**遅れて咲く下向きの花や、樹の高い所にある正常花をねらって、晴れ間を逃さず3回以上丁寧に！**
- ・その他、**芽かきをした樹、受粉樹から遠い樹など**

※雌しべの枯死が多くても、人工受粉により十分な結実を確保できます！



「やまがた紅王」や「紅秀峰」の被害が目立っているので、例年よりしっかり受粉しましょう！

←人工受粉による優良事例
※回数が多いほど効果が高い

3 引き続き防霜対策の徹底を！

◆**今が最も危険な時期です！**

- ・開花直前（雌しべ長5～8mm頃）が最も霜に弱い
- ・4月4日時点の雌しべ長（園芸研）
佐藤錦：3.01mm、紅秀峰：3.80mm、やまがた紅王：5.47mm

◆**気象情報に注意して、引き続き防霜対策を徹底！**

※防霜対策は前号（vol.1）を参照

- ・凍霜害対策マニュアル
- ・低温アラートの活用を！

4 灰星病防除

- ・開花直前、満開3日後の防除を遅れず実施



村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL 023-621-8291 TEL 0237-86-8301 TEL 0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)